

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~3日	4月 ~10日	4月 ~17日	4月 ~24日	5月 ~1日	5月 ~8日	5月 ~15日	5月 ~22日	5月 ~29日	6月 ~5日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	17	19	18	15	6	10	23	10	15	14
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	9	23	16	14	20	7	20	14	19 (27)	24
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	1	2	1	1	3	0	0	1	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	1	8	7	4	4	5	6	6	10 (11)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	5	2	3	9	7	6	5	6	4	3
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* その他の1件はアエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第22週(5月30日~6月5日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6			1		3	1	1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3	3						
四類	6	日本紅斑熱	5			3			1	1
		重症熱性血小板減少症候群	1						1	
五類	14	アメーバ赤痢	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	11					8		3
新型インフルエンザ 等感染症	3,521	新型コロナウイルス感染症	3,521	435	398	189	35	1,877	184	403

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第22週に1,877件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向ですが、依然として高い水準であり、基本的な感染対策の継続が必要です。一方で、これから夏場に向かって熱中症のリスクが高まることから、屋外で人との距離(目安2m以上)が確保できる場合などは、マスクを外すことが推奨されています。状況に応じた感染対策で、再拡大を防ぎましょう。

【参考】マスクの着用について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html

【参考】知事記者会見(令和4年5月31日)(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kishakaiken/gpc-20220531.html>

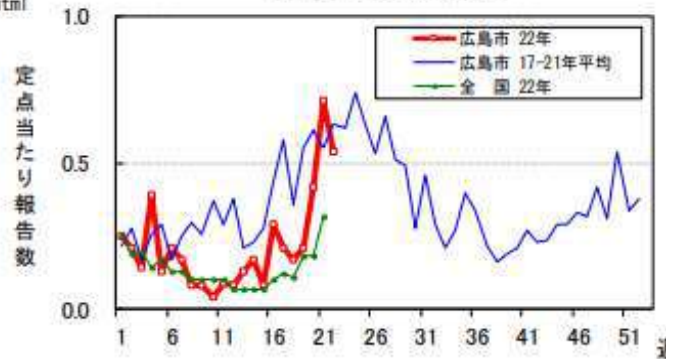
2 咽頭結膜熱

定点当たり0.54人と、前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり6.71人と増加傾向です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染対策を徹底しましょう。

咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.04		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.10	
小児科	咽頭結膜熱	13	0.54	0.63		眼科	RSウイルス感染症	7	0.29	0.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	2.17			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	161	6.71	5.57		流行性角結膜炎	2	0.25	0.38		
	水痘	2	0.08	0.20		基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	手足口病	3	0.13	1.77			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.06			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	8	0.33	0.50			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.52			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	41	50歳代、70歳代、70歳代・市外
5	アメーバ赤痢	1	1	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	5	20歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	10歳未満
5	梅毒	8	126	20歳代・2人、30歳代・2人、40歳代・2人、50歳代・2人